

## 2025年度 第2回 コミュニケーション・ディベート

★日時 : 6月14日(土)13:00~15:00

★場所 : 日出学園中学校・高等学校 4階 401教室

★ゲスト : 古野香織さん

(認定NPO 法人カタリバカタリバ、みんなのルールメイキング)

★持ち物 : 生徒手帳

コミュニケーション・ディベート 準備資料

### ルールメイキングをシミュレーションしよう

文部科学省は2022年に、12年ぶりに「生徒指導提要」を改訂しました。その中では「校則の見直し」が重要なテーマとして取り上げられています。

これは、社会や地域の変化に合わせて、校則の内容が今の時代に合っているかどうかを見直す必要があるという考えに基づいています。また、生徒の自由を不当に制限していないかどうかを確認し、必要に応じて改善していくことが求められています。

校則は校長が最終的に決めるものですが、生徒や保護者の意見を取り入れながら進めることが望ましいとされています。

こうした動きと連動するのが「みんなのルールメイキング」という取り組みです。このプロジェクトでは、校則を変えること自体が目的ではなく、対話を通して「より良い学校とはどのようなものか」を考えるきっかけをつくることを大切にしています。

実際にルールメイキングの対話を行う際には、次のような不安があるかもしれません。

● 誰が対話に参加するのか？

役職や立場で選ばれた人が、本当に意欲を持って参加できるかどうか気になります。

● 対話をどうまとめるのか？

「校則を変えるかどうか」という結論だけを目指してしまうと、本来の目的である「対話の学び」が失われてしまうかもしれません。

そこでまず次の間について考えてみてください。

問1 : ルールメイキングの対話にあたって不安に思うことはありますか？

対話がうまくいかなくなるかもしれないと感じる点はどこですか？

それに対して、どんな工夫ができると思いますか？

※例: 発言しやすい雰囲気づくり、少数意見を尊重する工夫、進行役のサポートなど

今回はシミュレーションとしての対話を行います。どんな意見が出て「シミュレーションの場」であり、立場や意見の違いを責めたりしないことが大切です。

問2 : 校則についてあなたの意見を聞かせてください

日出学園の校則(服装・頭髪・生徒心得)について、次の中から1つを選び、自分の考えを話してみよう。

● 変更した方がよい(どのように?)

● 無くした方がよい

● 新しく追加した方がよい

その理由や背景もあわせて伝えてみてください。

問3 : (時間があれば)他の人の意見を聞いてどう感じましたか？

他の人の話を聞いて、印象に残ったことや、考えが変わったことはありましたか？

自分の意見と比べて、どんな学びがあったかを共有しましょう。

今回の対話は、結論を出すことが目的ではなく、「どんな学校を目指したいか」を考える練習の場です。自由に発言しながら、お互いの意見を大切にしましょう。